

米粉製造革新技術等開発支援事業評価票

近畿農政局生産部生産振興課

事業名	事業実施主体	事業内容	事業費(円)	総合評価	AA : 計画以上の成果が見られる		
米粉製造革新技術等開発支援事業	株式会社 丸 宮 穀 粉	【取組概要】 玄米から米粉に至るまでの精米・製粉コストの削減	平成26年度 6,388,000円 (うち国費 2,951,493円)	総合評価  A : 計画通りの成果が見られる B : 計画通りの成果がみられない	従来型の米粉製粉技術にとらわれることなく、工業粉碎技術を応用した米粉粉碎、加工、浸漬工程の自動化によるコスト低減技術を確立し、玄米から米粉に至るまでの精米・製粉コストを当初259円/kgから169円/kgにする目標であったが目標を上回り167円/kgを実現した。		
		【取組内容詳細】 米粉にとって最も効率的な粉碎方法について、他産業からの視点で総合的にコスト低減について検討を行った。 手作業で行っている混合・充填作業を縦型連続生産方法に改善し コスト削減を目指すとともに、粉碎前処理工程における浸漬・脱水・テンパリング工程を自動的に行う装置を考案、改良装置での実証実験に望み更なるコスト低減を行った。	平成27年度 10,806,000円 (うち国費 3,708,573円)				
					成果目標		
a 成果目標が達成されているか					初年度(26年度)	次年度(27年度)	目標年度(28年度)
玄米から米粉に至るまでの精米・製粉コストを当初259円/kgから169円/kgにする目標であったが目標を上回り167円/kgを実現した。					精米・製粉コスト 259円/kg	精米・製粉コスト 削減額80円/kg を実現 → 精米・ 製粉コスト 179 円/kgとする	さらなる改良、改善を加えコスト削減を達成 → 精米・製粉コストを169円/kgにする
b 計画に即した取組が行われたか					事業成果		
米粉業界だけの目線ではなく、工業粉碎や他の食品産業、バイオマスエネルギー利用など異業種からの視点でコスト検証を重ね低コスト米粉製粉技術を計画を上回り達成した。					初年度(26年度)	次年度(27年度)	目標年度(28年度)
c 予算の執行が適正に行われたか。また予算に見合った成果が出たか					精米・製粉コスト 259円/kg	精米・製粉コスト 削減額80円/kg を実現 → 精米・ 製粉コスト 179 円/kg	さらなる改良、改善を加えコスト削減を達成 → 精米・製粉コスト削減目標を上回り167円/kg
当初計画を以上の低コスト米粉製粉技術を確立し、適正な事業遂行と予算執行が行われた。							

<記載要領>

- 1 評価観点ごとの所見欄には、a、b、cそれぞれの観点からの所見を記載する。
- 2 総合評価欄には、評価観点ごとの所見欄を踏まえて、AA、A又はBのいずれかに○を付ける。
- 3 総合所見欄には取組全体について総合的な所見を記載する。
- 4 事業内容欄は、事業実施状況報告書(別記様式4)に準ずる。
- 5 事業費は決算額を記入する。